

「本リリース御案内は、経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ及び消費者庁記者クラブに行っております。」

報道各位へのお知らせ

平成25年3月18日

nite National
Institute of
Technology and
Evaluation

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

製品安全センター

電気こんろによる事故の防止について（注意喚起）

電気こんろ（※1）による事故は、入学や就職、転勤など新生活が始まる春から夏にかけて、特に単身者用のワンルームマンション等で多く発生しています。さらに、リコールの対象になっている電気こんろの場合は、製造メーカー等による再三のリコールにも関わらず（※2）、未改修品による事故が多発生しているため事故防止の注意が必要です。

NITE（ナイト：独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：安井 至、本所：東京都渋谷区）製品安全センターに通知された製品事故情報（※3）のうち、平成19年度から23年度までの5年間に、電気こんろによる事故が206件発生しています（※4）。このうち、リコール改修（※5）漏れによる事故は2種、119件で約6割を占めています。

電気こんろの事故206件の被害状況は、死亡2件（※6）、軽傷11件、拡大被害（※7）181件、製品破損等12件です。

これらの事故は、誤使用や不注意等の使い方による事故、リコール改修漏れの製品（スイッチつまみの未改修品）による事故が多く見受けられますが、使用の際の注意やリコール改修により未然に防ぐことができるものも多いため、記者説明会を開催しますので、御案内いたします。

また、電気こんろ以外のリコール製品でも事故が発生していることから、ホームページに掲載されたリコール情報の検索の仕方の紹介とあわせてリコールちらしを配布いたします。

（※1）電気こんろは、ニクロム線等の熱源を利用するもので、組み込み式、据え置き式及び卓上式の3種類がある。今回の電気こんろの事故には、IHこんろの事故は含まない。

（※2）平成19年6月20日に電気こんろの事業者が協力して小形キッチンユニット用電気こんろ協議会が設立され、スイッチのつまみが飛び出した構造の組み込み式電気こんろのリコール改修を促進しています。

（※3）消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集した非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

（※4）平成25年1月31日現在、重複、対象外情報を除いた件数で、事故発生日に基づき集計。

（※5）リコール改修：リコールの事故原因となった不具合部分を修理・修繕すること。

リコール回収：リコール製品を市場や消費者から引き上げて回収すること。

（※6）死亡2件は、卓上型電気こんろ等の事故で、リコール製品の再発事故ではないと推定される。

（※7）製品本体の被害にとどまらず、延焼等周囲の製品や建物に被害が及ぶことを拡大被害としている。

1. 記者説明会について

日時：平成25年3月22日（金曜） 10：00～（開場9：00）

場所：ナイトスクエア（東京都渋谷区西原2-49-10 NITE 1階）

※参加御希望の方は、平成25年3月21日（木曜）18：00までに「記者説明会参加連絡先」へ必ず御連絡ください。

会場準備のため必要ですので、御協力くださいますようお願いいたします。

2. 説明する内容

NITEに通知された「電気こんろの事故」の状況とその傾向、事故事例及び未然防止のポイント等を説明いたします。また、再現実験映像を御覧いただき、DVDを配布いたします。

3. 当日入館時のご注意

NITE 本所（東京都渋谷区）では、入館管理システムを運用しております。

入館時： 受付で外来者用入館許可証をお渡しますので、ゲートにかざして入館してください。

（館内では許可証を首から下げてください。）

退出時： 許可証を受付に返却してください。

お手数をお掛けしますが、御協力くださいますようお願いいたします。

「記者説明会参加連絡先」

（本件に関するお問い合わせ先）

○記者説明会前々日まで

製品安全センター製品安全調査課長 葛谷（くずや）

担当者 亀井、山城

電話 06-6942-1113

○記者説明会前日及び当日

製品安全センター製品安全調査課

担当者 葛谷、亀井、山城

電話 03-3481-6566（製品安全企画課）

○記者説明会翌日以降

製品安全センター製品安全調査課

担当者 葛谷、亀井、山城

電話 06-6942-1113